

行政評価シート(事後評価)

コード (96) 8-6-2	事務事業名 雨水浸透施設助成事業	所管部課 都市整備部下水道課
-------------------	---------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	屋根に降った雨水を地下へ浸透させ、地下水のかん養及び潤いのあるまちづくりを進めることを目的とする。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等		
	敷地面積が500㎡未満の個人住宅に雨水浸透施設を設置する工事に対して、毎年度、予算の範囲において15万円を上限額として助成している。過去の実績等を踏まえ、平成19年度より上限額を20万円から15万円に引き下げている。		
事業開始時期	7 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)		4,280	4,109	4,963	5,720
財源: 国庫支出金・都支出金					
源: 地方債	千円				
内: その他 ()					
訳: 一般財源		4,280	4,109	4,963	5,720
所要人員(B)	人	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,331	3,274	3,264	3,264
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	7,611	7,383	8,227	8,984
単位当たりコスト (E)=(D) / (浸透施設設置戸数)	千円	181	211	179	150

活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
浸透施設設置戸数	実績値 戸	42	35	46	60
浸透樹設置個数	実績値 個	130	127	168	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 助成制度により浸透施設を設置した家屋数(単年度) 助成制度により設置した浸透樹の個数(単年度)					
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
一 浸透樹設置個数(累計)	目標値 個			1,515	1,743
	実績値 個	1,268	1,395	1,563	
二 総浸透能力(累計)	目標値 m ³ /h			1,229	1,000
	実績値 m ³ /h	54,887	55,752	56,981	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 成果指標の数値を累計に変更し、二次成果指標を他の浸透施設事業や開発行為を含めた1時間当たりの浸透能力とした。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	新築家屋への助成要望があった。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	雨水浸透施設助成制度を設けているのは26市中、本市を含めて18市、そのうち限度額を設定しているのは、17市となっている。 ただし、本制度の目的が各市様々であるので、一律の比較は難しいが総じて平均的な助成制度である。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	雨水貯留タンク設置助成(当市は未実施)

コード (96) 8-6-2	事務事業名 雨水浸透施設助成事業	所管部課 都市整備部下水道課
-------------------	---------------------	-------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>雨水溢水対策としても有効な事業であり、今後も引き続き市民にアピールする必要がある。</p> <p>なお、市民からの要望があった新築住宅への助成については、実施要綱の見直しを行い、対象宅地の規模及び助成の上限額を併せて改正した。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成18年度からの継続評価であるが、施工実績での事業効果・成果が見えず、昨年度指摘した「当該事業の成果・効果を分りやすく示せるような工夫」を行うことで、事業の位置づけを明確にしていく必要がある。</p> <p>なお、助成額の上限額を下げた点は評価するが、依然として他市と比べて安価な補助金ではないため、受益者負担についてはさらに検証を進められたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>受益者負担のあり方については、平成19年度の限度額引き下げの見直しに止まらず、引き続き他市の状況などを踏まえて調査・研究されたい。</p>